

(別紙1)

## 管理運営状況 評価シート【令和元年度】

(評価日 令和2年6月29日)

### 1 施設の概要

施設名	岩手県立水産科学館
所在地 電話・FAX HP・電子メール	宮古市日立浜町32番地28 TEL 0193-63-5353 FAX 0193-64-4855 http://www.city.miyako.iwate.jp/suisan/suisan_kagakukan.html
設置根拠	水産科学館条例
設置目的	(設置:昭和61年4月18日) 水産資源、水産技術等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、県民の水産についての知識の普及及び教養の向上を図る。
施設概要	敷地面積、建物面積、主な施設、利用定員等 敷地面積 5,671m <sup>2</sup> 建物面積 1,535m <sup>2</sup> (常設展示室 600m <sup>2</sup> 、特別展示室 100m <sup>2</sup> 、集会室 70m <sup>2</sup> 、エントランスホール 135m <sup>2</sup> 等)
施設所管課	岩手県農林水産部水産振興課 (電話 019-629-5817 メールアドレス AF0013@pref.iwate.jp)

### 2 指定管理者

指定管理者名	宮古市
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)
連絡先	宮古市産業振興部水産課 TEL 0193-62-2111

### 3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	管理運営及び企画全般、資料の収集、保管、展示、入館料収納事務、宣伝、広報等		
職員配置、管理体制	8名 (令和2年3月31日現在) (内訳)正職員3名、非常勤職員2名、 臨時職員3名	組織図 館長(非常勤) 一係長一主査一主査一資料・水槽管理3名(非常勤 1名・臨時職員2名)一事務補助1名(臨時職員)	
利用料金	一般4月1日から9月30日まで300円、10月1日から310円(※団体1人につき140円)、大学生・専門学校生等140円(※団体1人につき70円)、高校生以下無料 ※20人以上での来館は団体料金		
開館時間	9時から16時30分まで ※通常の開館時間外の入館希望者が あった場合は、随時対応	休館日	月曜日(祝日と重なる場合は一番近い平日) 年末年始(12月28日から1月4日まで)

### 4 施設の利用状況

(単位:人)

(利用者数、稼働率等)	前期間 平均	指定管理期間				備考
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	期間平均	
第1四半期	2,690	2,620	2,735			
第2四半期	6,509	6,124	6,278			
第3四半期	1,518	1,435	1,295			
第4四半期	1,453	1,382	1,316			
年間計(実績)	12,170	11,561	11,624			
年間計(計画)		14,974	14,974		H24 入館者数	

## 5 収支の状況

(単位：千円)

区分	前期間 平均	指定管理期間				備考
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	期間平均	
収入	指定管理料	30,864	31,164	31,434		
	入館料等	1,811	1,747	1,725		
	宮古市一般財源	7,993	10,723	11,370		
	小計	40,668	43,634	44,529		
支出	報酬	4,031	4,646	2,463		
	給料	7,944	8,120	7,508		
	職員手当等	3,375	3,637	4,977		
	共済費	6,373	7,974	2,300		
	需用費	10,044	9,402	8,000		
	役務費	799	654	645		
	委託料	7,222	8,187	6,600		
	賃借料	880	1,014	750		
	小計	40,668	43,634	44,529		
収支差額	0	0	0			

## 6 利用者の意見等への対応状況

### (1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	入退館時の聞き取り、イベント時のアンケート	実施 主体	県立水産科学館
------	-----------------------	----------	---------

### (2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 件、要望 件、その他 件
主な苦情、要望等	対応状況
①夏期の冷房が強すぎて館内が寒い。	室温を低く保っているのは、「磯の生物展」で使用する小型水槽の水温調整のため。展示する魚介類に適した水温は18℃前後であるが、使用している小型水槽には水温を調整する機器がついておらず、室温に連動して水温が変化してしまう。水温を適温に保つために室温を低くしており、その旨を張り紙で掲示し、入館者からの申出があった場合は、口頭での説明もしている。
②	
③	
<p>その他利用者からの積極的な評価等</p> <p>エントランスに設置した水槽で、宮古近海に生息するものを中心とした生きた魚介類の展示を行っており、入館者に好評である。</p> <p>休憩スペースには、魚介類をデザインしたスタンプやパズル等を用意しており、特に子供や親子連れの入館者に好評である。</p> <p>館内での写真やビデオ撮影は自由に行ってもらっており入館者に喜ばれている。</p>	

7 業務点検・評価 (※)

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績 (指定管理者の自己評価)	評価指標
運営業務	仕様書及び関係法令に基づき次の業務を完全に履行すること。 <b>【業務区分】 管理運営業務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経理事務</li> <li>・ 物品の整理、保管</li> <li>・ 設備の操作</li> <li>・ 資料の収集、保管、展示</li> <li>・ 資料の調査、研究</li> <li>・ 報告書の刊行</li> <li>・ 入館者の案内、解説</li> <li>・ 宣伝、広報</li> </ul> <b>【業務区分】 入館料収納事務</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務全般について、全職員の情報共有に努め、適正に業務を履行した。</li> <li>・ 現金の取り扱いを始めとした経理事務について適正に履行し、現金の過不足等の不具合は生じなかった。</li> <li>・ 物品管理について、適正に行った。</li> <li>・ 館内設備の操作について、細心の注意を払い適正に行った。</li> <li>・ 資料の収集・保管・展示や調査・研究について、適正に行った。</li> <li>・ 本年度の事業報告書を作成した。</li> <li>・ 施設の紹介やイベントの PR について、市公式ホームページやフェイスブックへの掲載、各学校への施設利用案内、市内外各所へのポスター掲示依頼、案内看板の設置、報道機関への案内などを行い周知に努めた。</li> </ul>	A
施設の利用状況	平成 24 年度入館の利用者数 (14,974 人) を達成すること。	令和元年度の利用者数実績は、11,624 人で、前年度実績とほぼ同程度であり、目標達成までは至らなかった。近年で比較的入館者数が多かった時と比べると 7～8 月の夏休み時期と冬季の入館者数が少なく、この時期の入館者数の増加に向けた対策が課題となっており、今後一層の努力や工夫が必要である。	B
事業の実施状況	利用者ニーズに合った展覧会、研修会、講習会等を実施すること。	開催した企画展・イベント <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集資料展 1,779 人 (4/20～5/26・開館日 33 日)</li> <li>・ 磯の生物展／岩手の海とジオの魅力展 4,492 人 (7/12～8/18・開館日 35 日)</li> <li>・ お魚のお世話をしてみよう 17 人 (7 月末から 8 月初に 4 回開催)</li> <li>・ 鮭革細工教室 (1/13) 18 人</li> <li>・ わかめの学習試食会 (2/16) 56 人</li> <li>・ カラー魚拓講習会 (2/23) 11 人</li> </ul>	A
施設の維持管理状況	仕様書及び関係法令に基づき次の業務を完全に履行すること。 <b>【業務区分】 管理運営業務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財産の維持管理</li> <li>・ 施設の防火管理、訓練</li> <li>・ 施設の警備</li> </ul> <b>【業務区分】 清掃業務</b> <b>【業務区分】 施設保守業務</b> <b>【業務区分】 警備業務</b> <b>【業務区分】 植栽管理業務</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適正で効率的な施設の維持管理を行った。</li> <li>・ 毎日数回、館内の巡回を行い、設備の稼働状況や展示物の破損の有無等確認を行った。</li> <li>・ 職員の防火意識の向上に努め、火気を取扱う場合には、細心の注意を払って行った。</li> <li>・ 自衛消防訓練を、図上と実働各一回行った。</li> <li>・ 専門的な業務については、専門業者への業務委託を行った。</li> </ul>	A

記録等の整理・保管	各種管理記録簿等を整備、保管し、県の要請に応じて遅滞なく提示すること。	・各種記録簿について、適切に整備・保管を行った。	A
自主事業、提案内容の実施状況	—	—	—
(施設所管課評価) ・成果のあった点 入館者数が目標達成に至らなかったものの、教育関係施設や報道機関等への周知、PR活動を積極的に行い、地域に向けたPRにも努めた。収集資料展の内容に工夫をこらし、要望があれば出前学習(体験学習)にも対応、アンケート結果を事業に反映させるなど、利用者サービスの向上に努めた点などが評価される。  ・改善を要する点 入館者数の目標達成に向けてPR活動を強化すること。			A

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績(指定管理者の自己評価)	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した者を適正に配置すること。	・各業務に適した人材を、適正に配置した。	A
苦情、要望対応体制	苦情、要望に対する対応を適切に行わない、職員間で情報共有を行うこと。	・利用者から苦情や要望が出された場合は、職員間でその情報を共有したうえで、対応を協議した。対応できない事例は無かった。	A
危機管理体制(事故、緊急時の対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、緊急時における訓練を実施すること。</li> <li>・仕様書第11に定める対応(入館者に事故が発生した場合の応急手当等)を行うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災を想定した避難誘導等の対応について、自衛消防訓練を行った。</li> <li>・AEDを設置しており、年に一度救急講習を行い、その取扱い方法を習得した。</li> <li>・館内巡回において、非常灯や誘導灯に不備がないか注意しており、不備を見つけた場合は、早急に修繕を行った。</li> </ul>	A
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の法令遵守の意識を啓発する取組を行うこと。</li> <li>・個人情報の保護等を定めた基本協定第6章を遵守すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令順守意識について、各職員に周知徹底した。</li> <li>・個人情報の取扱いについて、細心の注意を払い行った。宮古市の個人情報取り扱い手引書に基づいて取扱いを行い、必要以上の個人情報は収集せず、個人情報の記載された書類の取扱いには十分注意し、廃棄は確実に行った。</li> </ul>	A
県、関係機関等との連携体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県に適宜連絡を行ない、円滑な運営を行うこと。</li> <li>・緊急時の連絡体制を構築すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と綿密に連携を取り、円滑な運営に努めた。</li> <li>・非常招集系統図を作成し、宮古市水産課との間にも、非常時の連絡体制を構築した。</li> </ul>	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点 職員間で情報共有を図るなど、適正な体制のもと運営していると認められる。 ・改善を要する点 特になし。			A

## (3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	職員の接遇向上を図ること。	・利用者等への対応について、気づいた点があった場合は、全体で意見を出し合い、接遇の向上に努めた。	A
利用者サービス	利用者のニーズにあったサービス提供を行うこと。	・エントランスホールに設置した水槽で生きた魚介類を飼育し、入館者向けに展示した。 ・開館及び閉館時間については柔軟に運用しており、時間外に入館希望者があった場合は、基本的に受け入れて対応した。 ・入館者の多い8月前半は、通常休館日である月曜日でも臨時開館とし、入館者の利便性向上に努めた。	A
利用者アンケート等	・正確なニーズ把握の方法を検討し、実施すること。 ・ニーズ把握の結果を分析すること。	・年間で最も入館者の多い「磯の生物展」の期間中に入館者アンケートを実施し、ニーズの把握に努め、要望について実施可能であるか検討を行った。	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点 利用者のニーズに合わせて、柔軟に開閉館時間の変更や臨時開館を行っているほか、集客力のあるイベント（磯の生物展）時に利用者アンケートを実施、その結果を検討して事業に反映させるなど、ニーズの把握や分析に努めている。 ・改善を要する点 特になし。			A

## (4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画と収支実績が乖離していないこと。	概ね計画通りの実績だった。	B
指定管理者の経営状況	—	—	—
(施設所管課評価) ・成果のあった点 入館者数が目標達成に至らず、入館料収入が計画を若干下回ったものの、概ね計画通りの実績と認められ、適切な管理が行われている。 ・改善を要する点 入館者数の目標を達成するため、今後さらに新しい取組を企画、検討していく必要がある。			B

※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

## 8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

### (1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項</p> <p>年間を通じて、適正で効率的な管理運営に努め、入館者の増加につなげるべく、企画展・イベントを開催した。当館の代表的なイベントである「磯の生物展」は、本年度は「三陸防災復興プロジェクト2019」の共同企画展「岩手の海とジオの魅力展」の参加事業として、7月12日（金）から8月18日（日）まで開催し、多くの方々に来館いただいた。</p> <p>また、4月20日から5月26日までは、近年寄贈を受けた資料を展示する「収集資料展」を開催した。普段は公開していない資料を展示する企画展であり、あまり目にする事のない品々の展示であることから、多くの来館者から好評を得た。</p> <p>例年開催して好評を博しているイベントの中で、「新巻鮭体験」については、鮭の不漁から材料となる生鮭を確保することができず中止としたが、その他の、「鮭革細工教室」・「宮古のわかめは日本一！わかめの学習&amp;試食会」・「カラー魚拓講習会」については本年度も実施し、多くの方に参加いただいた。</p> <p>このような、参加者に好評を得ているイベントを継続実施した上で、更に新たな企画も行いながら、入館者の増加を図りたい。</p>
<p>② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項</p> <p>本年度の入館者数は前年度とほぼ同程度であり、入館者の増加に向けた更なる取り組みが必要と考えられる。特に、冬季の入館者増加に向けた対策は、以前からの課題でもあり色々取り組んできたところでもあるが、その年間を通じて入館者の増加に向けた、企画展やイベント・館のPRなど検討を続けていきたい。</p>
<p>③ 県に対する要望、意見等</p> <p>開館から30年以上経過し、館の設備など経年劣化が否めない点も少なくない。修繕工事について県と協議の上進めているところであるが、館の運営に支障をきたすことのないよう、ご配慮願いたい。</p> <p>また、常設展示室の展示内容は、開館以来大きく変化しておらず、その模様替えについても検討いただきたい。</p>

### (2) 県による評価等

<p>① 指定管理者の運営状況について</p> <p>入館者数が目標達成に至らなかったものの、前年度の入館者数を上回っている。企画展やイベントについて教育関係施設や報道機関等に積極的に周知し、地域に向けたPRにも努めている。収集資料展の内容に工夫をこらし、要望があれば出前学習（体験学習）にも対応、アンケート結果を事業に反映させるなど、集客に向けた積極的な取組や利用者サービスの向上に努めている点を評価する。</p> <p>また、長年にわたり、地元の漁業関係者等と良好な関係を築き、活魚や珍魚、漁具等の貴重な資料を無償提供してもらうなど、資料収集にも積極的に取り組んでおり、総合的に高いレベルで施設の管理運営が行われていると認められる。</p>
<p>② 県の対応状況について（自己評価）</p> <p>施設の状況等について、随時連絡を取り合い、必要に応じて現地確認を行った。</p>
<p>③ 次期指定管理者選定時における検討課題等</p> <p>施設竣工から30年以上が経過していることから、今後も計画的な維持修繕を実施して施設の管理運営を行う必要がある。また、常設展示室の内容も開館当初から変わっておらず古くなっていることから、利用者サービスの維持・向上に向け、計画的な模様替え等についても検討が必要である。</p>

## 9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
改善状況
（指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日）
改善状況の確認
（再評価年月日 年 月 日）